

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	情報技術と職業__入門（Information Technology at Work Place – intro）		
ナンバリングコード	P11601	大分類 / 難易度 科目分野	情報メディア学科 専門科目 / 基礎レベル キャリア開発
単位数	2	配当学年 / 開講期	1 年 / 後期
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	P160151	クラス名	-
担当教員名	福島 学、濱田 大助、星芝 貴行、高 文局、足立 元、吉森 聖貴、小島 康史、松原 かおり、		
履修上の注意、 履修条件	課題に対する取り組み等を重視します。出席を欠かさないで下さい。 全員、履修してください。（学科推奨科目） 授業時はもちろん、各自の主体的な学内外での取り組みも重要になります。 他は備考欄を参照ください。		
教科書	必要に応じて教員が資料を作成し配布します。		
参考文献及び指定図書	必要に応じて教員が指示します。		
関連科目	各種専門科目、社会参画系授業、情報技術と職業入門（演習、実践）		

○基本情報		
授業の目的	4年間で取り組んでいるキャリア教育プログラムの1年目のステップです。就職・進学といった将来を見据えた「大学の歩き方」を学ぶことをキャリア形成の第一歩と位置づけ、特に「情報メディア学科」での学び方を身につけることを主テーマとします。大学卒業後の進路を目標と設定し、その進路を実現するために、在学中における様々な取り組みを行います。	
授業の概要	将来の方向性を考えるには、まず①自分を知ることと、②自分が取りうる選択肢について深く知ることが重要です。①については、「一般常識模試」や「GATB」「VRT」といったアセスメントツールを利用して、自身の適性や基礎学力のレベルを捉え、その結果から将来の活動計画を立てます。②については、まずは本学科の各コースの目的や科目内容についての理解を深め、適切なコースの選定が行える土台を形成します。さらに、卒研発表会や研究室紹介等の学科内で実施されるイベントや、インターンシップ・資格試験等に対する先輩からの体験談を聞くことで、卒業までに取り組む内容をより身近にとらえ、自身の将来へのステップを考えます。これらを通して最終的に「目標曼荼羅」（キャリア目標設計）を作成します。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	「実習、フィールドワーク」
地域志向科目	カテゴリー II：地域での体験交流活動を教育内容に含む科目	
実務経験のある教員による授業科目	安藤、福島は情報関連企業にて開発業務経験がある。 講義では、具体的な業務内容、「企業の研修（業務での利活用ベースの学び）」と「学校の学習（科目ベースの学び）」の違い、チーム開発、異なる職の横のつながり、などに関して実例を挙げて講義を行う。	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100%)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー①】	社会・地域への共感とともに自らの「キャリア」を意識し、継続力・主体性を示す全出席・適切な記載内容の提出物が実施出来る。		30%	
【ディプロマ・ポリシー②】	曼荼羅作成を通し幅広くかつ多角的観点から「自分」と「社会」との接点を見出し、価値創造に向けた歩み方を自覚できる。		40%	
【ディプロマ・ポリシー③】	講義を通した学修に自分なりの意味付けを行い、その目標に向かってスモールステップで進む(キャリアメイク)ことが出来る。		30%	

※教養教育科目及び教職科目については大学DP、専門科目については各学部DPIに準じています。

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
[Sレベル]到達目標を満たしている。 [Aレベル]到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]到達目標を一部満たしている。 ・レポートは、授業時に指示される注意事項に従って締切日まで提出してください。すべて提出した場合は、評価の対象とします。 ・授業に欠席や遅刻・早退せずに、意欲的に取り組んだ場合、評価の対象とします。 ・配布資料の概説や実習問題などを通して、授業内容や課題のフィードバックができるようにします。

○その他
出席管理の方法については、第1回授業時に説明します。所定の方法で出席登録をしない場合、欠席と記録します。 授業プログラムは、シラバスに沿って実施しますが、受講生の進捗状況や、社会情勢を考慮しながら、再調整することがあります。 また、2, 3年の科目（情報技術と職業-演習、実践）と共同で実施する場合があります。 スケジュール管理、タスク管理も非常に重要です。授業での課題、演習を通して修得しましょう。 課された課題への取り組みが非常に重要です。さらに各自でさらなる技能修得や知識の応用など、自主的な取り組みが非常に重要です。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	情報技術と職業 入門 (Information Technology at Work Place) 福島 学、濱田 大助、星芝 貴行、高 文局、足立 元、吉森 聖貴、小島 康史、松原 大輔	授業コード P160151
学修内容			
1. ガイダンス 本授業での取り組みについて説明を行い曼荼羅を作成します。 曼荼羅は、「過去曼荼羅(過去の出来事を曼荼羅としてつないで表現)」「半期曼荼羅(後期／約4カ月(1/3年)に取組もうと思っていることを曼荼羅として表現)」「依頼曼荼羅(卒業して10年経過した時にどんな自分でいたいかを曼荼羅として表現)」の3種類を作成します。			
予習	本学で成し遂げたいコト、将来の進路について考えてください。		約2時間
復習	配布資料や課題への取り組み、今後の計画について考えてくこと。		約2時間
2. 解説・ワーク・一般常識模試 自分の学力をしっかりと捉えるため、事前解説・ワークと一般常識模試に取り組みます。			
予習	基礎学力(高校2年まで)で弱い部分について取り組んでおいてください。模試の受験料を支払うこと。		約2時間
復習	取り組んだ結果から自己採点し、間違えた部分を各自で問題を解いておいてください。		約2時間
3. VRTテストと目標 職業に対する興味の度合いをVRTテストを通して把握します。また、将来の方向性の目標について、本日より取り組み始めます。			
予習	作成した曼荼羅を更新してください。		約2時間
復習	目標について少しずつ具体化していきましょう。		約2時間
4. コース紹介(1) 教員および先輩からコースの目的や科目内容について、それぞれの目線での話を伺い、コースについての理解を深めます。			
予習	コースの内容について、学科Webサイト等を参考にして現時点での自分なりのイメージをまとめておきます。		約2時間
復習	もし自分がこのコースだったらどんな目標曼荼羅が書けるかを作成する。		約2時間
5. コース紹介(2) 教員および先輩からコースの目的や科目内容について、それぞれの目線での話を伺い、コースについての理解を深めます。			
予習	コースの内容について、学科Webサイト等を参考にして現時点での自分なりのイメージをまとめておきます。		約2時間
復習	もし自分がこのコースだったらどんな目標曼荼羅が書けるかを作成する。		約2時間
6. コース紹介(3) 教員および先輩からコースの目的や科目内容について、それぞれの目線での話を伺い、コースについての理解を深めます。			
予習	コースの内容について、学科Webサイト等を参考にして現時点での自分なりのイメージをまとめておきます。		約2時間
復習	もし自分がこのコースだったらどんな目標曼荼羅が書けるかを作成する。		約2時間
7. GATB(一般職業適性検査) 各個人の職業適性の検査に取り組みます。			
予習	「もしも曼荼羅」を見直し「自分の多面性(様々な可能性)」をまとめておく。		約2時間
復習	目標について少しずつ具体化していきましょう。		約2時間
8. 「高校の勉強」と「大学の学び」と「社会での学び」 高校までの勉強は科目で独立していました。一方、社会では社会課題を解決するために「総合力」が求められます。大学では、これまでの学び方から社会での学びに変えていくための「大学での学び」を考えます。グループで意見を出すワークを行います。後日「その内容」を資料化します。			
予習	「学び」とは何かをこれまでの振り返ってまとめておきましょう。		約2時間
復習	ワークの記録を整理し資料作成に備えましょう。		約2時間

○授業計画	科 目 名 担当教員	情報技術と職業 入門 (Information Technology at Work Place) 福島 学、濱田 大助、星芝 貴行、高 文局、足立 元、吉森 聖貴、小島 康史、松原 大輔	授業コード P160151
学修内容			
9. もしも曼荼羅振返りと「学び」の動画作成 ワークで出た／出した意見を整理しながら、もしも曼荼羅を振り返り更新してみましょう。 パワーポイントに整理した資料を使って動画を作成します。			
予習	ワークの資料ともしも曼荼羅を見返しておきましょう		約2時間
復習	動画を完成させましょう		約2時間
10. 「高校の勉強」と「大学の学び」と「社会での学び」の動画相互評価 「高校の勉強(受け身が主体)」から「社会での学び(能動が主体)」に変わるために「大学での学び」を自分はどうしていくかを、ワークおよびもしも曼荼羅から考えた結果が動画になっています。他の人の動画(意見)を視聴し、良いな／自分もやってみたいと思う点、やり方の更新に参考になる点、自分とは違う点／新しい発見、を相手に伝えましょう。			
予習	動画が視聴できるようにしておきましょう		約2時間
復習	視聴した相手にコメントするとともに、頂いたコメントを確認しておきましょう。		約2時間
11. 卒研振返りと研究室訪問準備 大学での学びの集大成である「卒業研究・口頭試問会」に参加し「キャリアメイクの成果」を聞いた内容を整理し、聞けなかった内容を聞くための「研究室訪問」の準備を行います。			
予習	卒研で「難しい」... けど興味ある／自分でもできるようになりたいものを見つけておきましょう		約2時間
復習	研究室訪問で聞きたい内容を整理しておきましょう		約2時間
12. 曼荼羅で「ステップを進める」ための取り組み 曼荼羅を使って「ステップを進める」を確実にするには「スモールステップ」が大切です。 確実に踏めるステップは人によって異なります。自分のステップを「実際に進めたステップ(これまでに作成した曼荼羅)」を使って確かめてみましょう。			
予習	これまでに作成した曼荼羅を見返しておきましょう		約2時間
復習	今の自分のステップを確認しましょう		約2時間
13. GATB返却と「ステップを進める」ためのワークの続き GATBの返却を行います。一般常識、VRTと共に「今の自分」を知りましょう。 それに基づいて「今の自分のステップ」を確認し「確実に進めるステップ」と「進みたい方向」を確認します。			
予習	「今の自分」と「こうなりたい自分」を考えておきましょう		約2時間
復習	曼荼羅振返りの準備をしておきましょう		約2時間
14. 曼荼羅更新 過去曼荼羅、半期曼荼羅、未来曼荼羅、を振り返り、過去曼荼羅で新たに気付けた事の追記、半期曼荼羅が実際どう出来たかの「予定・実際」比較、未来曼荼羅を講義を通して気付けた事を盛り込んで更新、します。			
予習	作成した曼荼羅および一般常識・VRT・GATBで数値化された自分の資料を用意しておきましょう		約2時間
復習	自分にあったステップと今思っている向きたい方向性を確認しておきましょう		約2時間
15. 曼荼羅作成 大学生生活の曼荼羅を学年毎に作成します。 1年生の曼荼羅は「今年を振り返り気付いた事や発見した事」で作成します。 2年生の曼荼羅は「方向性に向かって進むために春休みと次年度をどう使うか」で作成します。 3年生の曼荼羅は「研究室で何に取組、自分にあった方向性をどう確かめ、後期からの就活に使いたいか」で作成します。 4年生の曼荼羅は「卒業研究を通して 職 に就くための入社に向けた準備を進めるか」で作成します。			
予習	「大学／工学部／情報メディア学科」での「歩き方／学び方」をこれまでの取組成果から考えておきましょう		約2時間
復習	作成した曼荼羅は続く科目(情報技術と職業・演習)で使うので、完成させるとともに2年生に向けて準備しま		約2時間
16. 期末試験 卒業研究発表会に参加し、どのようなテーマの研究が行われ、どのように取り組んでいるかを理解し、レポートを作成し提出します。			
予習			
復習			